

都市再生整備計画(第8回変更)

まるこちゅうしんしがいち
丸子中心市街地地区

ながの うえだし
長野県 上田市

令和6年2月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォーカブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	長野県	市町村名	上田市	地区名	丸子中心市街地地区	面積	130 ha
計画期間	平成 30 年度	～	令和 5 年度	交付期間	令和 2 年度	～	令和 5 年度

目標

- 市街地拠点の充実とそれをつなぐネットワークの強化により「賑わいのある丸子市街地」の再生を図る。
- ① 公共・公益施設や商業施設の集積を活かした、賑わいのある市街地拠点の創出
 - ② 二次公共交通の充実やまち歩き空間の形成による拠点間ネットワークの強化
 - ③ ウォーキング、サイクリングなどを通じた健康増進に向けた環境づくり

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の考え方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
丸子地域中心市街地は、旧丸子町時代から、国道152号や市道下丸子腰越線沿いの周辺に商業・業務施設や商店街、公共施設などの都市機能が集積した沿道型市街地を形成している。しかし、社会情勢の変化、人口減少社会の進行、市町村合併による求心力の低下等、丸子地域を取り巻く環境は厳しく、平成27年には人口集中地区が無くなり準人口集中地区となってしまった。都市のスポンジ化が顕著となっている。
そこで、人口減少社会を見据えた中で既存ストックの活用を図ると共に、再整備に併せた公共施設等の集約化等により、賑わいのある市街地拠点を創出したい。さらに市街地拠点間を結ぶ公共交通や歩行空間のネットワークを充実させることで、上田市が進めている「健幸都市」(=Smart Wellness City)個々人が自分のライフスタイルに合わせ、健康でかつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むことができる街)の実現を目指す。

まちづくりの経緯及び現況

- ・上田市は平成18年3月、旧上田市・丸子町・真田町・武石村の1市2町1村の市町村合併以来、市全体の一体感の醸成を図るとともに「参加と協働」「地域内分権」の考え方により、まちづくりを進めてきた。
- ・平成28年、上田城を築城した真田昌幸の子、真田信繁(幸村)の生涯を描いた大河ドラマ「真田丸」が放送され、ドラマ館をはじめ、様々な施策を進め、多くの観光客を迎えることができ、市の一体感の醸成に一役を担った。
- ・第二次上田市総合計画では、将来都市像を「ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる健幸都市」と掲げ、市民一人ひとりがライフスタイルにあった幸福を感じ、いきいきと健康に暮らせる、人と人がつながるまちづくりを目指す。
- ・上田市都市計画マスターplanでは、将来都市構造として「各拠点の連携(ネットワーク)を強め、一体的かつ持続可能な集約型都市構造(コンパクトシティ)の構築の推進」と掲げ、その方向性が示されている。
- ・同マスターplanの地域別都市づくり方針では、丸子地域の将来像として「製造業の集積が高い地域であることから、職住近接のゆとりある生活空間の創出」と掲げ、その方向性が示されている。
- ・丸子地域中心市街地は、旧丸子町時代から、国道152号や市道下丸子腰越線沿いの周辺に商業・業務施設や商店街、公共施設などの都市機能が集積した沿道型市街地を形成している。
- ・社会情勢の変化、人口減少社会の進行、市町村合併による求心力の低下等、丸子地域を取り巻く環境は厳しく、平成27年には人口集中地区が無くなり準人口集中地区となった。
- ・丸子地域の現在の人口22,627人(2,015年国勢調査実績)は、国立社会保障・人口問題研究所によると、10年後の2025年には20,435人(1割減少)、20年後の2035年には18,133人(2割減少)と推計している。
- ・上丸子商店街の店舗数は、市町村合併前(平成17年)の168店舗から現在(平成28年)には108店舗と4割近く減少した。

課題

- ・丸子地域自治センター(支所機能)や丸子駅バスターミナルがある上丸子商店街周辺は、市街地拠点として、既存の都市機能集積を活かして、居住と交流の機能を充実させていく必要がある。
- ・丸子中央病院、商業施設、老人福祉施設等が集積されている丸子ペルシティは、新たな市街地拠点として、賑わいと交流の創出を目指した土地利用を誘導することが必要である。
- ・バス路線の確保・維持を目指し、運賃低減バス実証運行を継続しており、一定の効果が現れているが、将来にわたり持続可能な公共交通網の構築に向け、利便性の向上を図る必要がある。
- ・超高齢社会、一人暮らし世帯が増加する社会を迎える、一人ひとりが健康で過ごすことが地域社会においても重要で、地域ぐるみで健康づくりに取り組むことが大切であり、健幸空間を整備することは必要である。

将来ビジョン(中長期)

- 「第二次上田市総合計画」
- ・「コンパクトなまちづくりの推進」… ①中心市街地や各地域自治センターを中心とした拠点集約型の都市づくりを進める。②歩いて暮らせる健幸都市づくりのため、各拠点を公共交通などで連携したネットワークの充実を図る。
 - ・「将来にわたり持続可能な公共交通網の確保・維持」… ①市民が快適に、通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、バス相互やバスと鉄道の連携など、公共交通機関のネットワーク化を図る。
 - ・「健幸都市の実現に向けた公共交通機関の活用」… ①健幸都市の実現に向け、公共交通機関を利用し、駅やバス停まで歩くことで健康増進を図るなど、健康面からのアプローチを図る。
 - ・「ウォーキングによる交流や健康づくりの推進」… ①各地域のウォーキングイベントの定期的な開催を支援する。②ウォーキングに関する様々な情報をホームページなどで発信し、手軽に情報交換できる仕組みを整える。

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

- ・中心市街地は、歴史的に広域圏（依田窪地域）としての中心都市であった経過から、バスター・ミナルとしての公共交通の結節機能、衰退しているものの商店街や企業を中心とした経済機能、広域圏の中核病院となっている病院、図書館、高校、市民ホール等の公共公益機能をもとより有しているため、これらを活用した拠点集約型の都市づくりを進める。
- ・健幸都市の実現に向け、歩道、遊歩道の整備等により、公共交通機関を利用し、駅やバス停まで歩くことで健康増進を図るなど、健康面からのアプローチを図る。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
依田川ウォーキングロードのウォーキング者数	人/日	平日・休日で2箇所計測する ※総合計画指標・目標値から × 1.14倍	健幸都市の実現を目指し、ウォーキング等の運動をすることで健康増進を図る。	191	平成29年度	217	令和5年度
丸子駅を利用する路線バスの利用者数	人/年	乗車実績から算出する 平成29年度実績 × 0.9倍	コンパクトなまちづくりの推進を目指し、市街地拠点の充実と公共交通等のネットワークの強化を図る。	450,086	平成29年度	405,077	令和5年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>公共・公益施設や商業施設の集積を活かした、賑わいのある市街地拠点の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丸子地域自治センターや丸子駅バスターミナルがある上丸子商店街周辺は、市街地拠点として、既存の都市機能集積を活かして、居住と交流の機能を充実させていく必要がある。丸子駅バスターミナル周辺は、歩行者やバス利用者が安心・安全に利用できる空間を創出する。 ・丸子中央病院、商業施設、老人福祉施設等が集積されている丸子ペルシティは、新たな市街地拠点として、賑わいと交流の創出を目指した土地利用を誘導し、魅力を高めたい。 ・また、近年頻発する自然災害による被害を抑止・軽減し賑わいのある市街地拠点を維持するため、本地区を含む立地適正化計画区域の災害リスク分析を行い、誘導区域内で行う防災・減災対策、安全確保策を定める防災指針など立地適正化計画の改定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路事業(基幹事業):市道上丸子石井線 ・道路事業(基幹事業):市道箱畠線 ・公園事業(基幹事業):(仮称)丸子かわまち公園 ・地域生活基盤施設(基幹事業):丸子駅バスターミナル、丸子ペルシティ ・地域創造支援事業(提案事業):丸子ペルシティ空き倉庫利活用調査 ・事業活用調査(提案事業):立地適正化計画の改定 ・関連事業:上田市都市計画マスターplanの改定 ・関連事業:3園統合保育園建設
<p>二次公共交通の充実やまち歩き空間の形成による拠点間ネットワークの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来にわたり持続可能な公共交通網の構築に向け、利便性の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路事業(基幹事業):市道上丸子石井線 ・道路事業(基幹事業):市道箱畠線 ・地域生活基盤施設(基幹事業):依田川ウォーキングロード ・地域生活基盤施設(基幹事業):丸子駅バスターミナル、丸子ペルシティ ・地域生活基盤施設(基幹事業):かわまちづくり支援事業(依田川地区) ・関連事業:「串に団子」二次公共交通運行社会実験 ・関連事業:運賃低減バス実証運行 ・関連事業:丸子地域循環バス運行
<p>ウォーキング、サイクリングなどを通じた健康増進に向けた環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会、一人暮らし世帯が増加する社会を迎へ、一人ひとりが健康で過ごすことが地域社会においても重要で、地域ぐるみで健康づくりに取り組むことが大切であり、その環境フィールドを整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園事業(基幹事業):(仮称)丸子かわまち公園 ・地域生活基盤施設(基幹事業):依田川ウォーキングロード ・地域生活基盤施設(基幹事業):かわまちづくり支援事業(依田川地区) ・関連事業:健康幸せづくりプロジェクト「あたま・からだ元気体操」 ・関連事業:ランニング大会「信州爆水RUN in 依田川」
<p>その他</p> <p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民自身が、市街地拠点の位置づけを意識し、都市機能の集積や、拠点間のネットワークを大切にしたまちづくりを「参加と協働」「地域内分権」の考え方で進めていく。 	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集中支援事業)

交付対象事業費	885.0	交付限度額	407.4	国費率	0.460
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路	市道上丸子石井線	上田市	直	L=500m	29	4	30	4	306.1	301.1	301.1	301.1	301.1	—	
道路	市道箱脇線	上田市	直	L=460m	28	9	1	5	1,000.0	333.1	333.1	333.1	333.1	—	
公園	(仮称)丸子かわまち公園	上田市	直	A=18,000m ²	29	5	30	5	238.7	208.7	208.7	208.7	208.7	—	
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設	バスターミナル(丸子駅バスターミナル)	上田市	直	N=1箇所	4	4	2	4	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	—	
地域生活基盤施設	依田川ウォーキングロード	上田市	直	案内板N=3基	5	5	2	5	10.7	10.7	10.7	10.7	10.7	—	
地域生活基盤施設	かわまちづくり支援事業(依田川地区)	上田市	直	距離標N=5本	5	5	2	5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	—	
高層空間形成施設															
高次都市施設 地域交流センター															
観光交流センター															
まちおこしセンター															
子育て世代活動支援センター															
複合交通センター															
誘導施設 医療施設															
社会福祉施設															
教育文化施設															
子育て支援施設															
既存建造物活用事業															
土地地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街のみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										1,570.5	868.6	868.6	0	868.6	—

統合したB/Cを記入してください

…A

提案事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造 支援事業	丸子ペルシティ空き倉庫利活用調査	丸子ペルシティ空き倉庫	上田市	直	A=約1,200m ²	2	2	2	2	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	—
	依田川ウォーキングロード健幸空間創出事業	依田川ウォーキングロード	上田市	直	L=約2.5km	4	5	5	5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	—
事業活用調査	立地適正化計画の改定		上田市	直		4	5	4	5	11	11	11	11	11	—
まちづくり活動推進事業															
合計										16.4	16.4	16.4	0	16.4	—

合計(A+B)

885.0

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いすれかに○)				事業期間	全体会事業費	
					直轄	補助	地方単独	民間単独			
「串に団子」二次公共交通運行社会実験	丸子地域	上田市				○			2	4	30
合計											30

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いすれかに○)				事業期間	全体会事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独		
健康幸せづくりプロジェクト「あたま・からだ元気体操」	丸子ペルパーク	上田市	厚生労働省			○			29	
ランニング大会「信州爆水RUN in 依田川」	依田川	実行委員会					○		8	
3園統合保育園建設	上丸子地区	上田市	厚生労働省			○			30	4
運賃低減バス実証運行	上田市全域	上田市	国土交通省			○			25	4
丸子地域循環バス運行	丸子地域	上田市	国土交通省			○			12	
上田市計画マスターープランの改定	上田市全域	上田市				○			4	5
合計										0

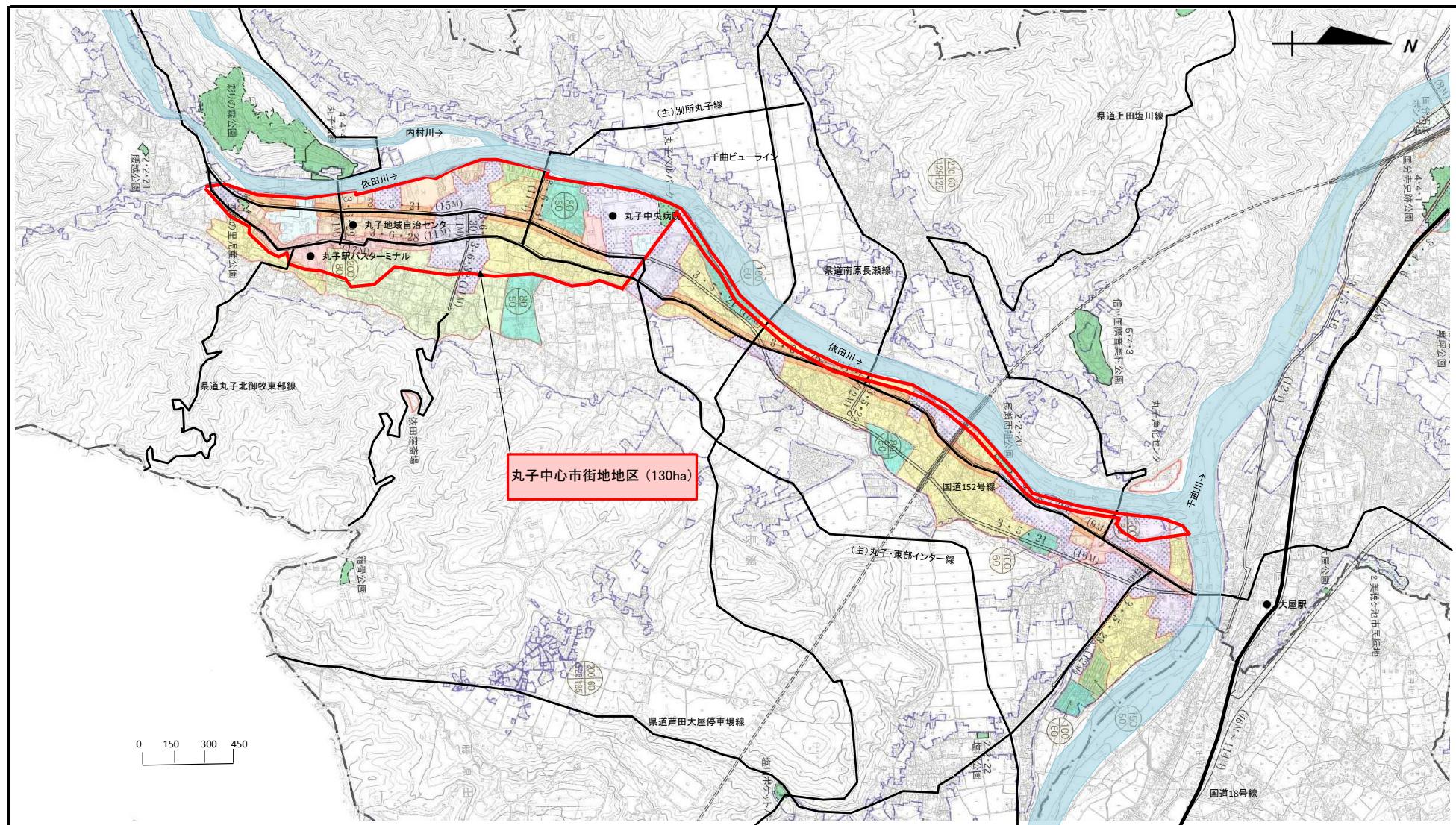
丸子中心市街地地区(長野県上田市)

面積

130 ha

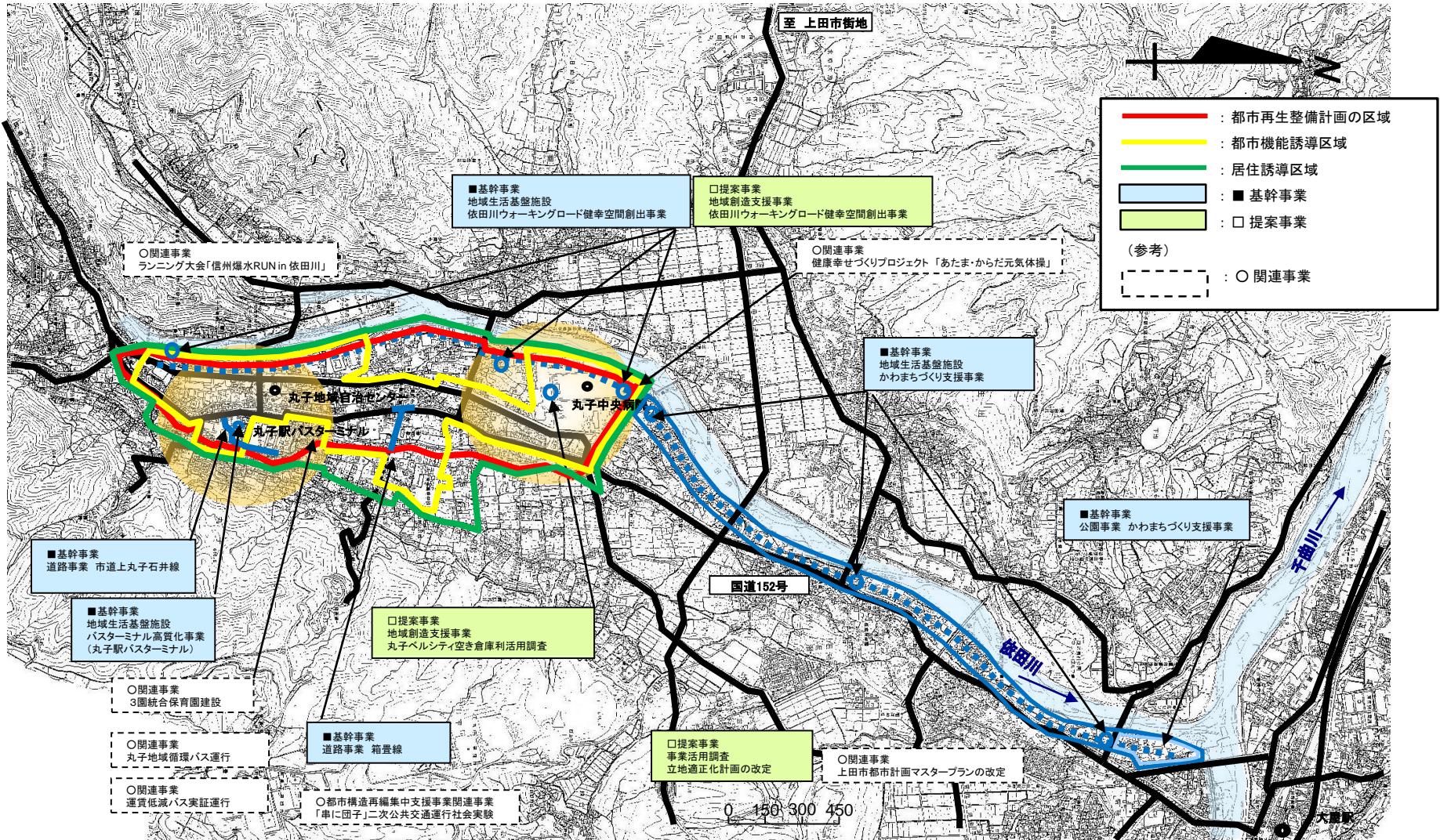
区域

上丸子、中丸子、下丸子、長瀬、塩川



丸子中心市街地地区(長野県上田市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	市街地拠点の充実とそれをつなぐネットワークの強化による 「賑わいのある丸子市街地」の再生	代表的な 指標	路線バスの利用者数 (人/日)	450,086 (29年度) →	405,077 (5年度)
			ウォーキング者数 (人/日)	191 (29年度) →	217 (5年度)
			()	(年度) →	(年度)

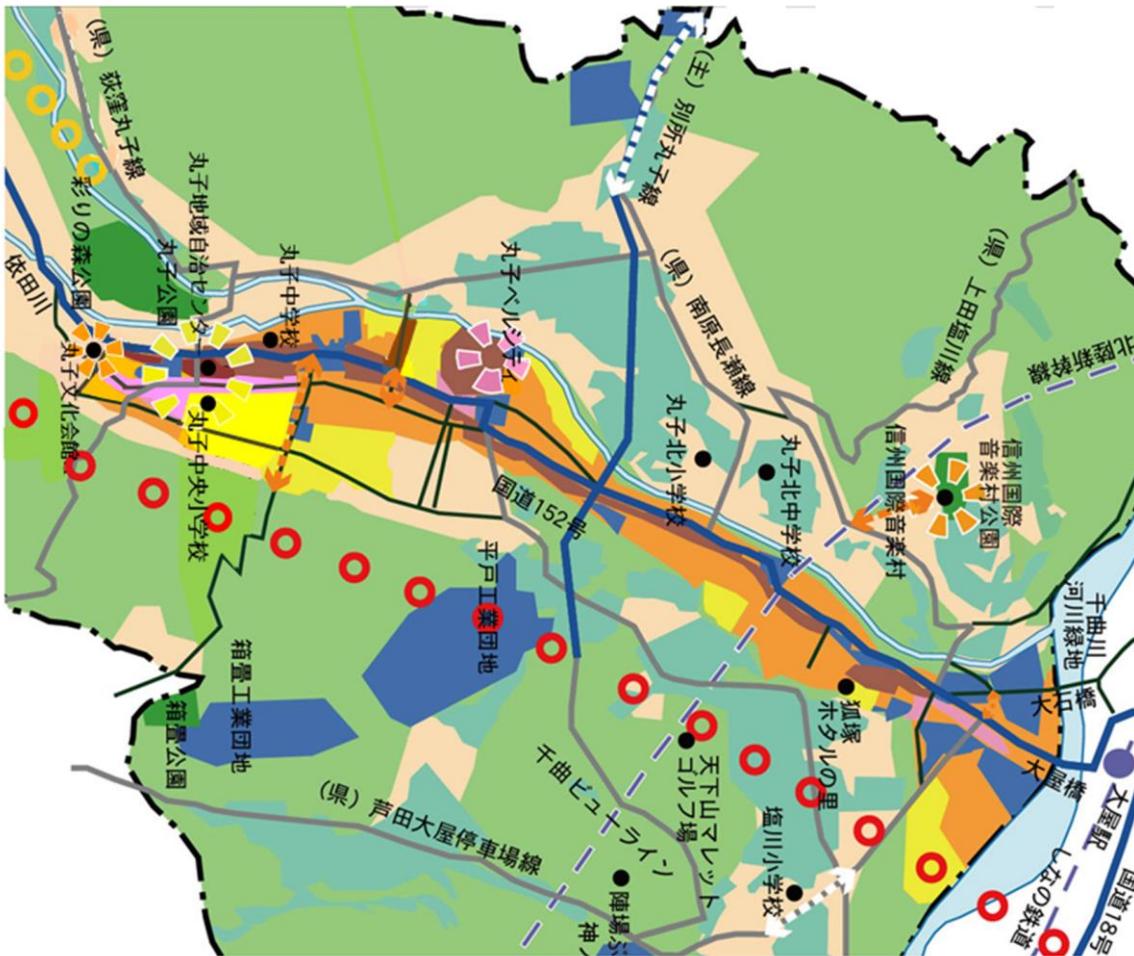


都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

まるこ ちゅうしん しがいち
丸子中心市街地地区 (ながの うえだ
長野県上田市)

丸子中心市街地地区(長野県上田市) 現況図



土地利用
商業・業務ゾーン
複合用途系ゾーン
居住系ゾーン
準居住系ゾーン
工業・研究ゾーン
農業・集落ゾーン
一団の農用地
保全緑地ゾーン

拠点
生活複合拠点
エリア
地域の交流エリア
文化・交流エリア

道路整備
【整備路線】
幹線道路
主要生活道路
【構想路線】
幹線道路（広域）
幹線道路

軸
主要幹線道路
幹線道路
辅助幹線道路

0 1 2km

交付限度額算定表(その1)

丸子中心市街地地区 (長野県上田市) 案式(2)-③

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	407.4 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	24,755.0 百万円	X≤Yゆえ、本計画における交付限度額	407.4 百万円
-----------------------------	-----------	-----------------------	--------------	--------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au 520,000 m²

公共施設の上限整備水準			
区域面積(m ²)		1,300,000	
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	○	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
		最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
		その他の地域	0.40

Cl 180,750 円/m²

単位面積あたりの標準的な用地費	
標準地点数	2
公示価格の平均値(円/m ²)	22,350
単位面積あたりの標準的な補償費	
当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.001
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf 23,000 円/m²

控除額 0 百万円

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)

<都市構造再編集中支援事業>

交付限度額(X1) 330.4 百万円

<都市再生整備計画事業>

交付限度額(X2) 77.0 百万円

<まちなかウォーターブル推進事業>

交付限度額(X3) 0.0 百万円

Ap 277,000 m²

公共施設の現況整備水準		
整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定		
推定現況整備水準(小数第2位まで)		
推定公共施設面積(m ²)		0

個別公共施設の積み上げ		
	面積(m ²)	割合
道路	194,000	0.15
公園	28,000	0.02
広場	55,000	0.04
緑地		-
公共施設合計	277,000	0.21

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1) 24,755 百万円

ΣCn 0 円

下水道	0 円
区域面積(m ²)	1,300,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	

標準整備費(円/m²) 3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物) 0 円

上限床面積(m²) 9,400

標準整備費(円/m²) 402,350

調整池 0 円

調整池の容積(m³)

標準整備費(円/m³) 140,000

河川 0 円

河川整備延長(m)

標準整備費(円/m) 3,700,000

住宅施設 0 円

建設予定戸数(戸)	超高層	一般
一般		
合計	0	

標準整備費(円/戸)	超高層	一般
北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
北海道一般地区	38,190,000	30,990,000

特別地区	49,120,000	35,690,000
大都市地区	37,170,000	30,180,000
多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000

奄美地区	39,520,000	35,640,000
沖縄地区	30,280,000	30,280,000
一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物 0 円

施設建築物の延べ面積(m ²)	
	132,000

電線共同溝等 0 円

電線共同溝等延長(m)	
	680,000

人工地盤 0 円

人工地盤の延べ面積(m ²)	
	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等 0 円

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2) 24,755 百万円

交付限度額算定表(その2)(都市構造再編集中支援事業)

様式(2)-④-1

【都市再生整備計画事業(都市再構築戦略事業を含む。)から都市構造再編集中支援事業へ移行する地区の場合】

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

○ 交付対象事業費

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

本都市再生整備計画において活用した事業に「○」をご選択ください。

<input type="checkbox"/> 都市再生整備計画事業(通常)
<input checked="" type="checkbox"/> 都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)
<input type="checkbox"/> 都市再構築戦略事業

＜都市再生整備計画事業(通常)の国費率、執行事業費＞ ※都市再生整備計画事業(通常)を活用した場合のみ記入

国費率(変更提出日の前日における交付限度額を交付対象事業費で除した値)	0.400	① (国費率)
変更提出日の前日までの執行事業費	192.736	② (事業費)

※都市再生整備計画事業(通常)から都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)に移行した場合、「変更提出日の前日」を「計画認定日の属する年度の年度末」に読み替え。

※都市再生整備計画事業(通常)から都市再構築戦略事業に移行した場合、「変更提出日の前日までの執行事業費」を「変更提出日の属する年度の年度末までの執行事業費」に読み替え。

＜都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)の国費率、執行事業費＞ ※都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)を活用した場合のみ記入

国費率(変更提出日の前日における交付限度額を交付対象事業費で除した値)	③ (国費率)
変更提出日の前日までの執行事業費	④ (事業費)

※都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)から都市再構築戦略事業に移行した場合、「変更提出日の前日までの執行事業費」を「変更提出日の属する年度の年度末までの執行事業費」に読み替え。

＜都市再構築戦略事業の国費率、執行事業費＞ ※都市再構築戦略事業を活用した場合のみ記入

国費率(変更提出日の前日における交付限度額を交付対象事業費で除した値)	⑤ (国費率)
変更提出日の前日までの執行事業費	⑥ (事業費)

＜都市構造再編集中支援事業の国費率、執行事業費＞

＜都市機能誘導区域内＞

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	465.451	⑦ (事業費)
	提案事業合計(B)	16.093	⑧ (事業費)
	合計(A+B)	481.544	(事業費)

以下の2つの条件それぞれについて、該当する場合は○を入力。

都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合	
提案事業2割拡充の適用	

※都市機能誘導区域面積割合:都市機能誘導区域の面積の市街化区域等(市街化区域又は非線引き用途地域)の面積に占める割合。

＜都市機能誘導区域外＞

交付対象事業費	基幹事業合計(C)	403.136	⑨ (事業費)
	提案事業合計(D)	0.300	⑩ (事業費)
	合計(C+D)	403.436	(事業費)
変更提出日以降の執行事業費の総額	692.244	⑪ (事業費)	

(10/10 × (A+B)) + (9/10 × (C+D)) (α1)	844.636	⑫
※都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合:		
(9/10 × (A+B)) + (9/10 × (C+D))		
(10/9 × (A+C)) (α2)	965.097	⑬
※提案事業2割拡充を適用する場合:		
(10/8 × (A+C))		
交付要綱に基づく交付限度額(①、②の小さい方 × 1/2)	422.318	⑭ (国費)
国費率(③ ÷ (A+B+C+D))	0.477	⑮ (国費率)

交付限度額(① × ② + ③ × ④ + ⑤ × ⑥ + ⑪ × ⑮) 407.438 ⑯ (国費)

○ 交付限度額、国費率

交付対象事業費(A+B+C+D)	885.0	(事業費)
------------------	-------	-------

交付要綱に基づく交付限度額 (⑯を1万円の位を切り捨て)	407.4	⑰ (国費)
国費率	0.460	⑱ (国費率)

年次計画(都市構造再編集中支援事業)

様式(2)~(5)~1

(事業費:百万円)

基幹事業										
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
道路	市道上丸子石井線	上田市	301.1	53.7	129.1	38.8	77.5	2.0		
道路	市道箱畠線	上田市	333.1		10.0	110.1	111.7	56.8	44.5	
公園	(仮称)丸子かわまち公園	上田市	208.7			20.0	26.7	62.0	100.0	
古都保存・緑地保全等事業										
河川										
下水道										
駐車場有効利用システム										
地域生活基盤施設	バスタークニナル(丸子駅バスタークニナル)	上田市	10.0					10.0		
地域生活基盤施設	依田川ウォーキングロード	上田市	10.7						10.7	
地域生活基盤施設	かわまちづくり支援事業(依田川地区)	上田市	5.0						5.0	
高質空間形成施設										
高次都市施設 地域交流センター										
観光交流センター										
まちおこしセンター										
子育て世代活動支援センター										
複合交通センター										
誘導施設 医療施設										
社会福祉施設										
教育文化施設										
子育て支援施設										
既存建造物活用事業										
土地区画整理事業										
市街地再開発事業										
住宅街区整備事業										
パリアフリー環境整備促進事業										
優良建築物等整備事業										
住宅市街地総合整備事業										
街のみ環境整備事業										
住宅地区改良事業等										
都心共同住宅供給事業										
公営住宅等整備										
都市再生住宅等整備										
防災街区整備事業										
計				868.6	53.7	139.1	168.9	215.9	130.8	160.2
提案事業										
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域創造支援事業	丸子ペルシティ空き倉庫利活用調査	丸子ペルシティ空き倉庫	上田市	5.1			5.1			
	依田川ウォーキングロード健幸空間創出事業	依田川ウォーキングロード	上田市	0.3						0.3
事業活用調査	立地適正化計画の改定		上田市	11.0					7.0	4.0
まちづくり活動推進事業										
計				16.4	0	0	5.1	0	7.0	4.3
合計				885.0	53.7	139.1	174.0	215.9	137.8	164.5
累計進捗率 (%)				6.1%	21.8%	41.4%	65.8%	81.4%	100.0%	

(参考)都市構造再編集中支援事業関連事業									
事業	事業箇所名	事業主体	交付対象事業費	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
「串に団子」二次公共交通運行社会実験	丸子地域	上田市	30			10	10	10	
合計			30	0	0	10	10	10	0
累計進捗率 (%)				0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	100.0%	100.0%

(参考)関連事業									
事業	事業箇所名	事業主体	交付対象事業費	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
健康幸せづくりプロジェクト「あたま・からだ元気体操」	丸子ベルパーク	上田市							
ランニング大会「信州爆水RUN in 依田川」	依田川	実行委員会							
3園統合保育園施設	上丸子地区	上田市							
運賃低減バス実証運行	上田市全域	上田市							
丸子地域循環バス運行	丸子地域	上田市							
上田市都市計画マスターplanの改定	上田市全域	上田市							
合計			0	0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 注1)	事業 主体	事業 手法 注2)	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	まち交 事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 注3)	都市計画 決定 年月 注3)	備 考 注4)
							整備前 m	整備 m							
市道上丸子石井線	上丸子	地	上田市	一	改築	500	5.3	9.5~10.5	2	2.5	301.1	H30~R4	道路新設		
市道箱畠線	上丸子	地	上田市	一	改築	70	5.0	11.0	2	2.0	333.1	H31~R5	道路拡幅	H29.7	
	~			~											
	~			~											
	~			~											
	~			~											

(参考)

<関連事業>															

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街：街路、地：地方道(市町村道)、国：国道、主：主要地方道、一：一般都道府県道、市：市町村道、他：いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人／日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築：交通量(人／日)、混雑度等

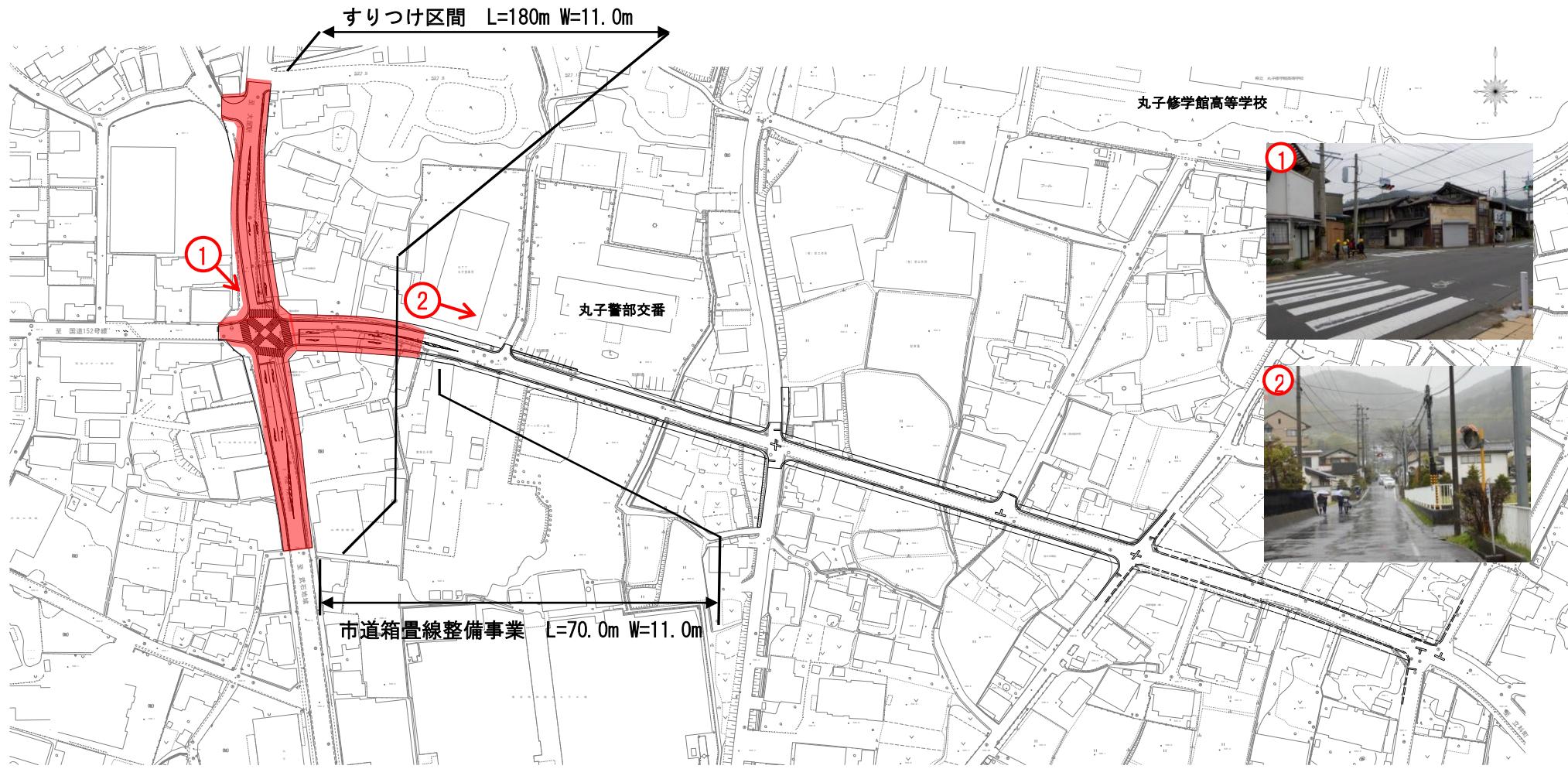
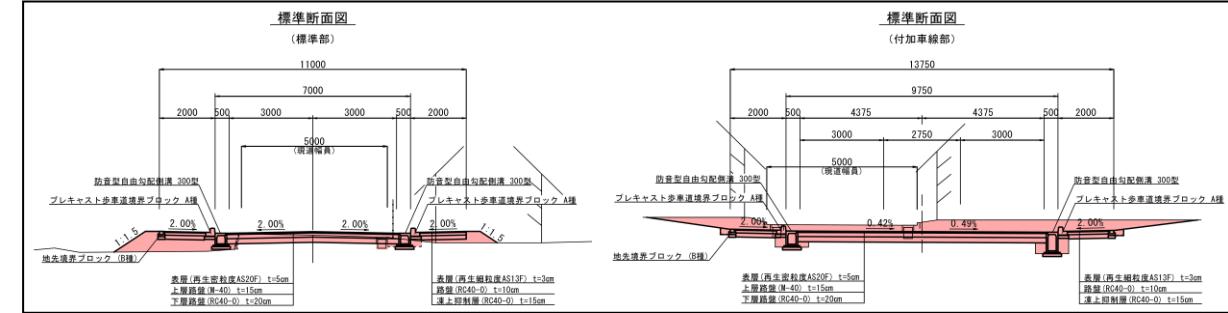
・自転車駐車場：都市計画決定の有無、面積、利用台数等

* 不足する場合は適宜行を追加すること

【道路事業】 市道上丸子石井線



【道路事業】市道箱型線



公園(都市公園補助事業採択要件外)

公園等名(*1)	種別等(*2)	事業主体(*3)	概要(面積(m ²)等) (*4)	交付期間内 事業費(百万円)	交付期間内事業費内訳			備考(*5)
					設計費 (百万円)	用地費 (百万円)	施設整備費 (百万円)	
(仮称)丸子かわまち公園	無	上田市	条例設置予定公園 18,000m ²	208.7	0	6.3	202.4	広場、トイレ、駐車場、 管理事務所
合計	—	—	—	208.7	0	6.3	202.4	—

*1 公園等名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。

*2 「種別等」欄には、都市公園の種別である「街区公園」、「近隣公園」、「地区公園」、「特定地区公園」、「総合公園」、「運動公園」、「動植物公園」、「歴史公園」、「広域公園」、「レクリエーション都市」、「風致公園」、「墓園」、「緩衝緑地」、「都市緑地」、「緑道」のいづれかを記入。

都市公園でない場合は「無」を記入し、「概要(面積等)」欄に制度上の位置付け(条例設置公園等)を簡潔に記載。

*3 「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)

*4 「概要(面積(m²)等)」欄には、都市公園でない場合に公園としての制度上の位置づけを記入する他、計画面積(単位:m²)等を記入すること。

*5 「備考」欄には整備する主な施設(園路、植栽、あずまや、体験学習施設等)を簡潔に記載。

*6 青色で着色してあるセルは自動計算されるので入力しないこと。

【公園事業】 (仮称)丸子かわまち公園

基本計画イメージ図



イメージ 親水広場



イメージ 親水広場



イメージ 芝生広場

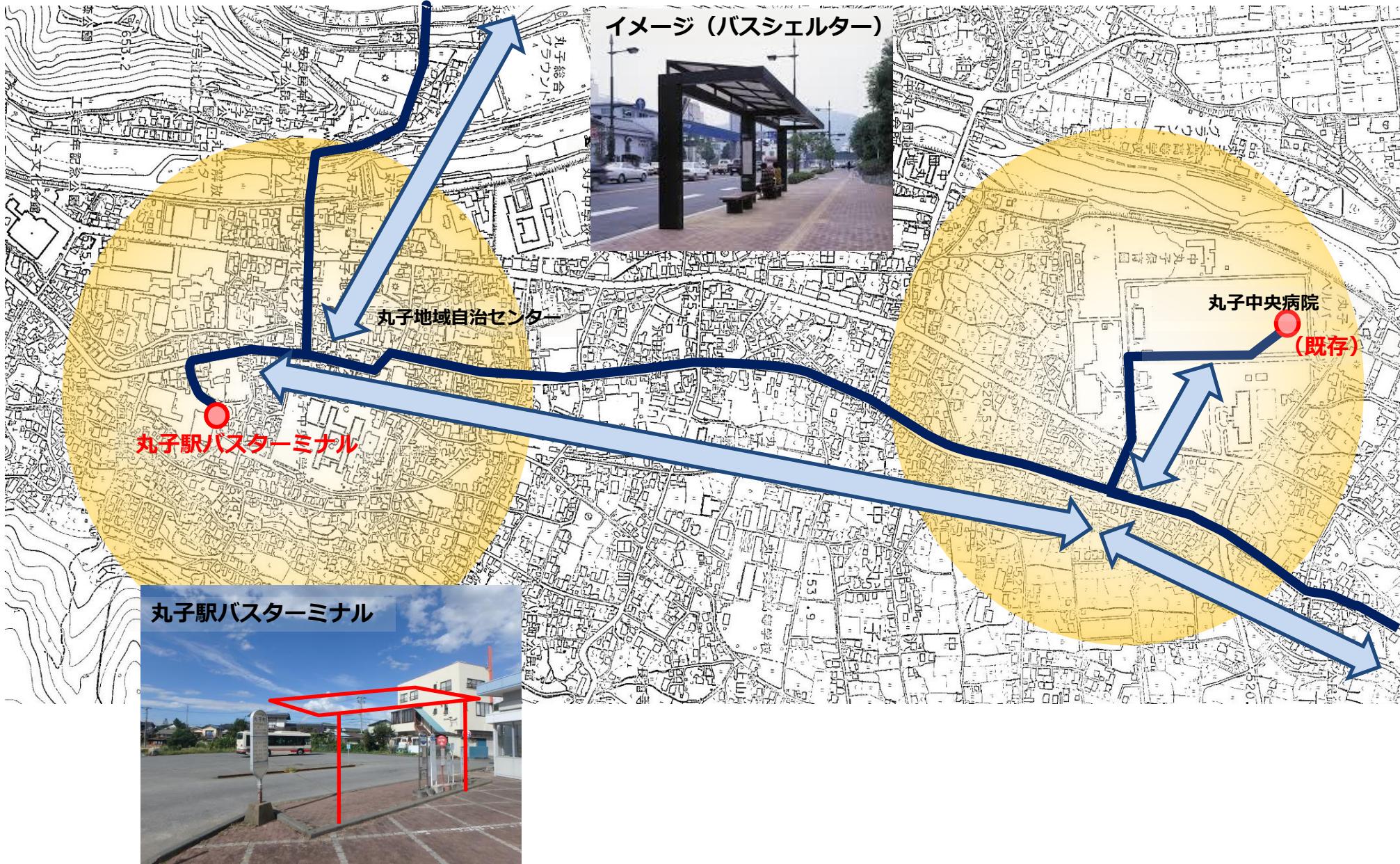


地域生活基盤施設

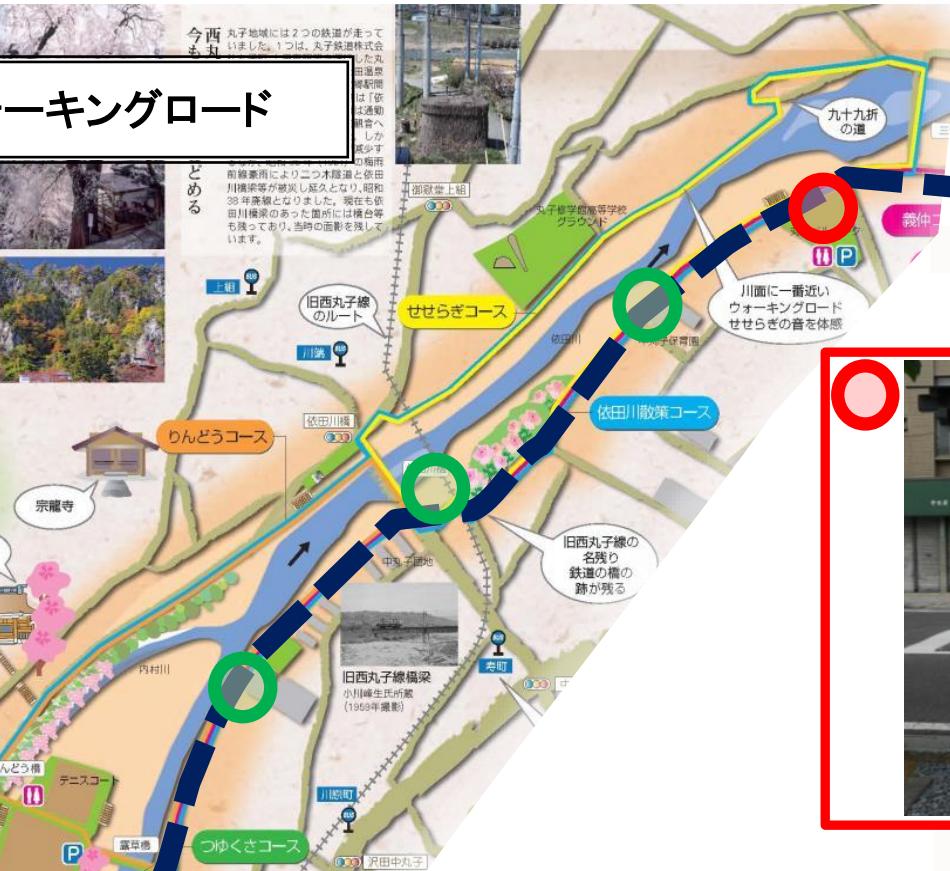
単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
							うち購入費	
緑地								—
広場	丸子駅バスターミナル	上田市	バスシェルター N=1基他	10.0	0	0	10.0	—
駐車場								
自転車駐車場								
荷物共同集配施設								
公開空地								—
情報板	依田川ウォーキング ロード	上田市	案内板設置 N=2基 距離標(既存)リニューアル N=8本	10.7			10.7	—
情報板	かわまちづくり支援事 業(依田川地区)	上田市	距離標(既存)リニューアル N=5本	5.0			5.0	—
地域防災施設	施設種別:							
人工地盤								—
合計	—	—	—					

【地域生活基盤施設】 バスターミナル(丸子駅バスターミナル・丸子ベルシティ)



【地域生活基盤施設】 依田川ウォーキングロード



依田川ウォーキングロード



案内板（地図）設置



巨離標 (既存)

イメージ

※距離標の ナンバー化

距離標（既存）リニューアル（上り下り各1本）

【地域生活基盤施設】 かわまちづくり支援事業(依田川地区)



事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

(単位:百万円)

事業名	事業概要	事業主体	規模	交付期間内事業期間		交付期間内事業費				事業費の主な使途概要	その他
				開始年度	完了年度	うち調査費	うち用地費	うち整備費	うち購入費		
地域創造支援事業 「丸子ペルシティ空き倉庫利活用調査」	丸子ペルシティの空き倉庫は、新たな市街地拠点にあり、立地が良いため、積極的な利活用を検討する。建物解体も含めた多角的な観点から調査・検討を行い、将来的には市街地拠点の中心とする。	上田市	A=1,200m ²	2	2	5.1	5.1			空き倉庫利活用調査の委託費	
地域創造支援事業 「依田川ウォーキングロード健幸空間創出事業」	依田川ウォーキングロードを健幸フィールドと位置づけ、基幹事業のハード事業と合わせて、ソフト事業により、健幸まちづくりを充実させる。	上田市	ウォーキングマップ作成 N=3000枚	5	5	0.3	0.3			ウォーキングマップ作成の委託費 ウォーキングマップの印刷・製本費	
事業活用調査 「立地適正化計画の改定」	近年頻発する自然災害による被害を抑止・軽減し賑わいのある市街地拠点を維持するため、本地区を含む立地適正化計画区域の災害リスク分析を行い、安全部策等を定める防災指針の追記などを行う。	上田市		4	5	11	11			立地適正化計画改定の委託費	

【地域創造支援事業】 丸子ベルシティ空き倉庫利活用調査

空き倉庫（旧カネボウ食堂棟）を貴重な財産として、市街地拠点の中核として、積極的な利活用を検討する



【地域創造支援事業】 依田川ウォーキングロード健幸空間創出事業

案内板設置や距離標リニューアルのハード事業と合わせて、距離標のナンバーを連動したウォーキングマップを作成する

【例 1】日光まちず（日光市）



【例 2】歩こう信州上田城下町 まちなか散策マップ



ハード事業



道案内サイン

ハード事業

